

幼保連携型認定こども園 **西神戸 YMCA 保育園 9月えんだより**

9月聖句：「主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。」 <詩編 23 篇 1 節>

この夏の猛暑で外に出る機会が少なかったのではないのでしょうか。夏の全国高等学校野球選手権大会をはじめ、様々な場面で対策が工夫がされる等、これまでの常識が通用しないほど変化している自然に合わせて、遊びや生活も変えていくことの必要性を改めて感じた夏でもありました。

旧約聖書の『詩篇』は、ユダヤ人によって収められた 150 篇の賛美、祈り、感謝、悔い改め、また神に対する信頼と愛情を表す詩によって構成されています。特に詩篇 23 篇は、旧約聖書の中でも有名な一つとされており、キリスト教信仰とは無関係に思える文学や映画等の場面でもこの詩篇が引用されることが多くあります。この詩篇はイスラエルの王ダビデが自分の生涯の様々な経験を思い出しながら歌った詩だと言われ、この詩篇の中でダビデは神様と自分の関係を羊飼いと羊にたとえています。古来、稲作を中心としてきた日本人には羊飼いはあまり身近な存在ではなく、羊にとって羊飼いがどのような存在なのか、よく分からない点があります。聖書では神様やイエス・キリストの比喻として、また羊を導き守る存在として描かれています。そして羊飼いな神様に導かれていく歩みを「わたしには何も欠けることがない。」と歌い、その豊かさを具体的に述べていきます。羊飼いが荒地の中で緑の牧場に羊を導き、牧草を食べさせ水場に伴われ水を飲ませるように、神様は厳しい日々の歩みを支え導き、必要を備えて下さると歌っております。私達も一日一日の歩みを神様にゆだね、一生懸命に育みを続けていきたいと願っています。

9月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	みてみて／おもしろそう	おもしろそう／気持ちいい
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の祈りやさんびかを真似ようとする ・のびのびと過ごす中で、自分のお気に入りを見つける ・空や雲、虫の音を保育者とともに感じる ・神さまのお話を聞き、親しみをもつ ・保育者との関係が深まり、安心して自分自身を表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の間、それぞれの場で守られたことを感謝し、礼拝、祈り、賛美の時をともにする ・夏の経験やこれまでの遊びからイメージを共有し、友だちと遊ぶ楽しさを感じる ・空や太陽、風など季節の変化に気づき、戸外で体を動かすことを心地よく感じる ・礼拝にみんなで集い、ともにまもることで心が満たされる ・友だちと仲間になって過ごすことや、イメージやルールをつくり出し、一緒に遊ぶことを嬉しいと思う
讃美歌	ちから	ちから